

徳島健生病院 家庭医療専門医研修プログラムにおける経験目標(臨床)

■が当プログラムで経験可能な項目です。

達成段階

- 1 : 基本的な知識を得た。
- 2 : 基本的な病態や状況の把握ができ、指導を受けながら実施できた。
- 3 : 一般的なケースで、自らが判断して実施できた。
- 4 : 複数の一般的なケースで、自らが判断して実施できた。更に他の医師に指導できた(できる)。
- 5 : 複雑な病態・状況下で、自らが中心となって判断して実施できた。

I. 一般的な症候及び疾患へのへの評価及び治療に必要な診察及び検査・治療手技

※印の検査・治療手技については、それら全体の90%以上の経験が必須である。
それ以外についても、できる限り経験することが望ましい。
この場合「経験」とは達成段階で3以上のこと。

(ア)身体診察

- ※①小児の一般的な身体診察及び乳幼児の発達スクリーニング診察を実施できる。
- ※②成人患者への身体診察(直腸、前立腺、男性・女性性器、鼠径、乳房、筋骨格系、神経系、皮膚を含む)を実施できる
- ※③高齢患者への高齢者機能評価を目的とした身体診察(歩行機能、転倒・骨折リスク評価など)や認知機能検査(HDS-R、MMSEなど)を実施できる。
- ※④耳鏡・鼻鏡・眼底鏡による診察を実施できる。
- ※⑤死亡診断を実施し、死亡診断書を作成できる。
- ⑥死体検案を警察担当者とともに実施し、死体検案書を作成できる。

(イ)実施すべき手技

- ※①各種の採血法(静脈血・動脈血)、簡易機器による血液検査・簡易血糖測定・簡易凝固能検査
- ※②採尿法(導尿法を含む)
- ※③注射法(皮内・皮下・筋肉・静脈内・点滴・成人及び小児静脈確保法、中心静脈確保法)
- ※④穿刺法(腰椎・膝関節・肩関節・胸腔・腹腔・骨髄を含む)

(ウ)検査の適応の判断と結果の解釈が必要な検査

- ※①単純X線検査(胸部・腹部・KUB・骨格系を中心に)
- ※②心電図検査・ホルター心電図検査・負荷心電図検査
- ※③超音波検査(腹部・表在・心臓、下肢静脈)
- ※④生体標本(喀痰、尿、皮膚等)に対する顕微鏡的診断
- ※⑤呼吸機能検査
- ※⑥オージオメトリーによる聴力評価及び視力検査表による視力評価
- ⑦消化管内視鏡(上部)
- ⑧消化管内視鏡(下部)
- ⑨造影検査(胃透視、注腸透視、DIP)
- ※⑩頭・頸・胸部単純CT、腹部単純・造影CT
- ⑪頭部MRI/MRA

(エ)救急処置

- ※①新生児、幼児、小児の心肺蘇生法(PALS)
- ※②成人心肺蘇生法(ICLSまたはACLS)または内科救急・ICLS講習会(JMECC)
- ※③外傷救急(JATEC)

(オ)薬物治療

- ※①使用頻度の多い薬剤の副作用・相互作用・形状・薬価・保険適応を理解して処方することができる。
- ※②適切な処方箋を記載し発行できる。
- ※③処方、調剤方法の工夫ができる。
- ※④調剤薬局との連携ができる。
- ⑤麻薬管理ができる。
- ⑥女性ホルモン製剤を適切に処方できる(ホルモン補充療法、低用量ピル(OC/LEP)、月経移動、緊急避妊)。

(カ)治療法

- ※①簡単な切開・異物摘出・ドレナージ
- ※②止血・縫合法及び閉鎖療法
- ※③簡単な脱臼の整復
- ※④局所麻酔(手指のブロック注射を含む)
- ※⑤トリガーポイント注射
- ※⑥関節注射(膝関節・肩関節等)
- ※⑦静脈ルート確保および輸液管理(IVHを含む)
- ※⑧経鼻胃管及びイレウス管の挿入と管理
- ※⑨胃瘻カテーテルの交換と管理
- ※⑩導尿及び尿道留置カテーテル・膀胱瘻カテーテルの留置及び交換
- ※⑪褥瘡に対する被覆治療及びデブリードマン
- ※⑫在宅酸素療法の導入と管理
- ※⑬人工呼吸器の導入と管理
- ⑭輸血法(血液型・交差適合試験の判定や在宅輸血のガイドラインを含む)
- ⑮各種ブロック注射(仙骨硬膜外ブロック・正中神経ブロック等)
- ⑯小手術(局所麻酔下での簡単な切開・摘出・止血・縫合法)
- ※⑰包帯・テーピング・副木・ギプス等による固定法
- ⑱穿刺法(胸腔穿刺・腹腔穿刺・骨髄穿刺等)
- ※⑲鼻出血の時的止血